

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

| | |
|--|---------------------------------------|
| 産業廃棄物処理計画書 | |
| 令和5 年 6月 30日 | |
| 栃木県知事 福田 富一 様 | |
| 提出者 GKNドライブラインジャパン株式会社 住 所 栃木県栃木市大宮町2388 氏 名 代表取締役社長 アンソニー ベル (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0282-27-1111 (代) | |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。 | |
| 事業場の名称 | GKN ドライブラインジャパン株式会社 |
| 事業場の所在地 | 栃木県栃木市大宮町2388 |
| 計画期間 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 |
| 当該事業場において現に行っている事業に関する事項 | |
| ① 事業の種類 | 輸送用機械器具製造業 (自動車部品・付属品製造業) [3113] |
| ② 事業の規模 | 製造品出荷額 377億7百万円 (令和4年1月1日～令和4年12月31日) |
| ③ 従業員数 | 580名 |
| ④産業廃棄物の一連の処理の工程 | 別紙1の通り |

(日本工業規格 A列4番)

| 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 | | | |
|-----------------------|---|--------|---|
| (管理体制図) 別紙2の通り | | | |
| 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 | | | |
| ① 現状 | 【前年度（令和4年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙3の通り | |
| | 排出量 | 別紙3の通り | t |
| | (これまでに実施した取組) 別紙4の通り | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙3の通り | |
| | 排出量 | 別紙3の通り | t |
| | (今後実施する予定の取組) 別紙4の通り | | |
| 産業廃棄物の分別に関する事項 | | | |
| ①現状 | (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4の通り | | |
| ②計画 | (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4の通り | | |

| 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 | | | |
|-------------------------|-------------------------|--------|---|
| ① 現状 | 【前年度（令和4年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙3の通り | |
| | 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 | 別紙3の通り | t |
| | (これまでに実施した取組) 別紙4の通り | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙3の通り | |
| | 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | 別紙3の通り | t |
| | (今後実施する予定の取組) 別紙4の通り | | |
| 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 | | | |
| ① 現状 | 【前年度（令和4年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙3の通り | |
| | 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 | 別紙3の通り | t |
| | 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 | 別紙3の通り | t |
| (これまでに実施した取組) 別紙4の通り | | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙3の通り | |
| | 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 | 別紙3の通り | t |
| | 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | 別紙3の通り | t |
| (今後実施する予定の取組) 別紙4の通り | | | |

(第4面)

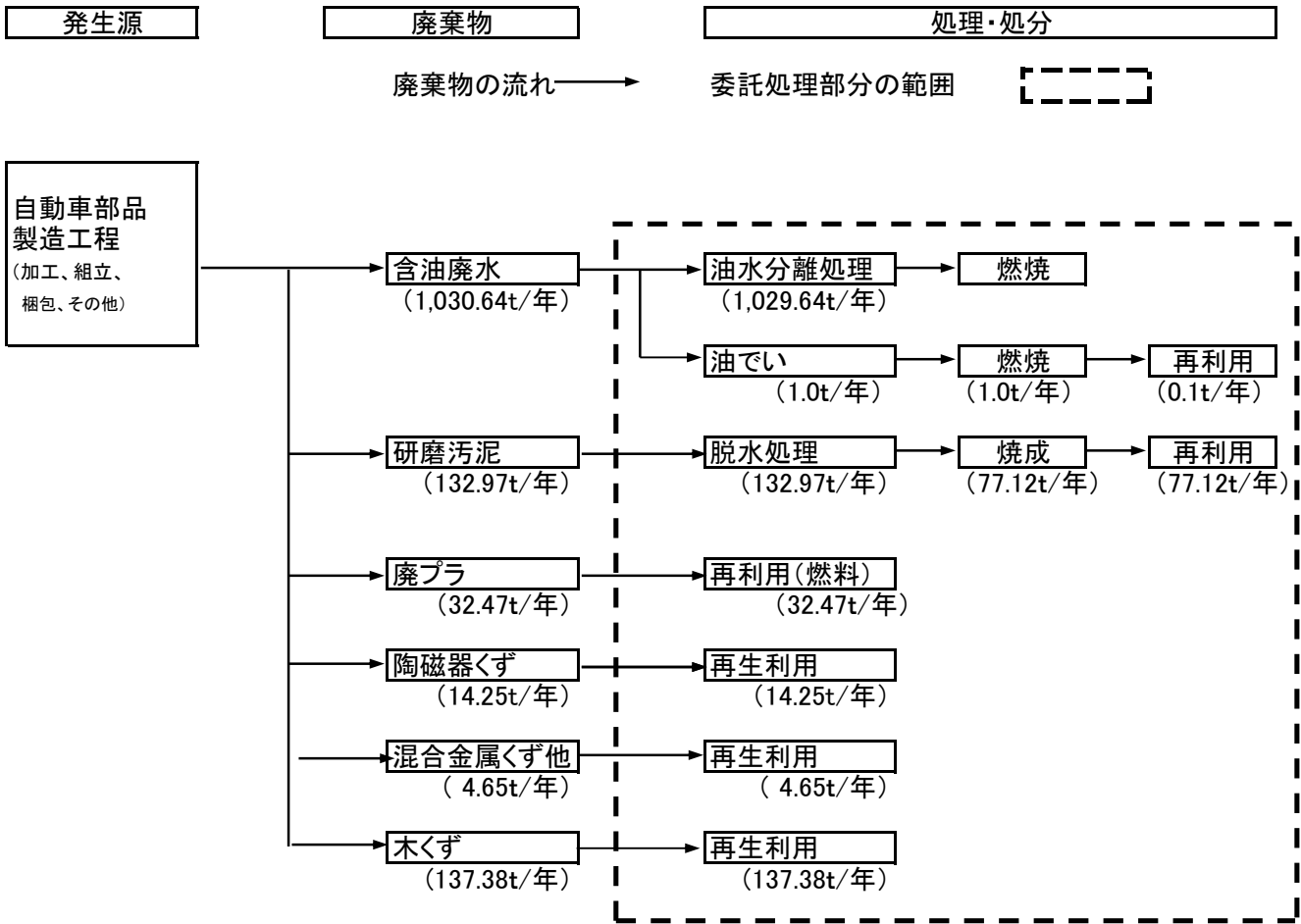
| 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 | | | |
|------------------------------|---------------------------|--------|---|
| ① 現状 | 【前年度（令和4年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙3の通り | |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 | 別紙3の通り | t |
| | (これまでに実施した取組) 別紙4の通り | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙3の通り | |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 | 別紙3の通り | t |
| | (今後実施する予定の取組) 別紙4の通り | | |
| 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 | | | |
| ① 現状 | 【前年度（令和4年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙3の通り | |
| | 全処理委託量 | 別紙3の通り | t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | 別紙3の通り | t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | 別紙3の通り | t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | 別紙3の通り | t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 別途3の通り | t |
| | (これまでに実施した取組) 別紙4の通り | | |

| | | | |
|--------|-----------------------------------|--------|---|
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙3の通り | |
| | 全処理委託量 | 別紙3の通り | t |
| | 優良認定処理業者への 処理委託量 | 別紙3の通り | t |
| | 再生利用業者への 処理委託量 | 別紙3の通り | t |
| | 認定熱回収業者への 処理委託量 | 別紙3の通り | t |
| | 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 | 別紙3の通り | t |
| | (今後実施する予定の取組) 別紙4の通り | | |
| ※事務処理欄 | | | |

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1



廃棄物処理フロー図 (現状)

別紙 2

<産業廃棄物の処理に係わる管理体制>

環境管理推進組織図

| | | |
|--|---------|---|
| 環境管理責任者 | | 安全環境主管部署長(品質保証・リスク部主担) |
| 環境管理推進者 | | 各部推進者 |
| 事務局 | | 品質保証・リスク部 |
| 役割 | 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理(ISO14001)の要求事項の確立、実施、維持 ・環境マニュアルの起案 ・環境方針の周知徹底 ・全社の環境目的、目標の設定 ・環境に関する教育訓練 |
| | 環境管理推進者 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントプログラムの立案 ・環境マネジメントプログラムの運用推進 ・環境マネジメントプログラムの実績の確認 |
| 管理組織図 | | |
| <pre> graph TD A[代表取締役(環境担当役員)] --- B[環境管理責任者] A --- C[内部環境監査員] B --- D[事務局] B --- E[名古屋サイト(名古屋事業所)] B --- F[本社・栃木サイト] B --- G[大光寺サイト] </pre> | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋サイト(名古屋事業所) ・本社・栃木サイト 品質保証部門、財務部門、生産管理購買部門、人事部門、営業部門、開発部門(実験課、試作課)、生産部門(栃木工場(生産技術含む))等 ・大光寺サイト 開発部門(PG含む)等 | | |

別紙 4

<産業廃棄物の排出の抑制に関する事項>

| | これまでに実施した取組 | 今後実施する予定の取組 |
|-----------|-------------------------------------|--|
| 廃プラ類 | ・一般廃棄物のビニール類をRPF化 ・ポリ箱類は有価物として販売 | ・廃プラの排出の抑制 ・ポリ箱売却率の向上 |
| 廃油 | ・工程内リユース(再使用)の推進 | ・発生抑制を考慮した製造方法と設備改善の検討 ・工程内リユース(再使用)のライン数拡大 |
| 汚泥 | ・加工条件の変更(研磨汚泥) | — |
| ガラス、陶磁器くず | — | ・蛍光灯(LED等への変更検討) |
| 木くず | — | ・梱包容器(輸入材)の変更検討 |

<産業廃棄物の分別に関する事項>

| | 分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組 | 今後実施する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組 |
|-----------|--------------------------|-----------------------------|
| 廃プラ類 | ・有価物と廃棄物の分別作業実施 | ・廃棄物分別方法の再教育の推進及びパトロールの実施 |
| 廃油 | — | — |
| 汚泥 | — | — |
| ガラス、陶磁器くず | — | — |
| 木くず | — | — |

<自ら行なう産業廃棄物の再生利用に関する事項>

| | これまでに実施した取組 | 今後実施する予定の取組 |
|-----------|-------------|-------------|
| 廃プラ類 | — | — |
| 廃油 | — | — |
| 汚泥 | — | — |
| ガラス、陶磁器くず | — | — |
| 木くず | — | — |

<自ら行なう産業廃棄物の中間処理に関する事項>

| | これまでに実施した取組 | 今後実施する予定の取組 |
|-----------|----------------|-------------|
| 廃プラ類 | — | — |
| 廃油 | 廃水処理中止(処理施設廃止) | — |
| 汚泥 | — | — |
| ガラス、陶磁器くず | — | — |
| 木くず | — | — |

<自ら行なう産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項>

| | これまでに実施した取組 | 今後実施する予定の取組 |
|-----------|-------------|-------------|
| 廃プラ類 | — | — |
| 廃油 | — | — |
| 汚泥 | — | — |
| ガラス、陶磁器くず | — | — |
| 木くず | — | — |

<産業廃棄物の処理の委託に関する事項>

| | これまでに実施した取組 | 今後実施する予定の取組 |
|-----------|-------------|-----------------|
| 廃プラ類 | ・有価物への移行の実施 | ・優良認定処理業者への処理委託 |
| 廃油 | — | ・優良認定処理業者への処理委託 |
| 汚泥 | — | ・優良認定処理業者への処理委託 |
| ガラス、陶磁器くず | — | ・優良認定処理業者への処理委託 |
| 木くず | — | ・優良認定処理業者への処理委託 |